



**YAMATO
MOBILITY & MFG.**

2025年3月期 第2四半期決算説明会

本日のアジェンダ

第一部：当社グループの会社概要と第二四半期決算数字のご報告

第二部：EV関連事業のご説明

当社概要

[創業]

1937年(昭和12年) 2月11日

[資本金]

1,037,028,272円

[上場市場]

東証スタンダード市場 (コード番号7886 ※1995年JASDAQ店頭登録)

[代表者]

代表取締役CEO / 鈴木 昭寿

代表取締役COO / 重岡 幹生

[本店所在地]

埼玉県川越市古谷上4274

[従業員数]

90名(単体) / 928名(連結) ※2024年3月末現在

[主な事業]

合成樹脂成形関連事業・物流機器関連事業・EV関連事業

会社概要



ヤマト モビリティ& Mfg.の拠点

● 日本拠点

川越本社・工場

東京本社

横浜事業所

大阪営業所

埼玉ヤマト（埼玉県深谷市）

ヤマト・テクノセンター（埼玉県入間郡三芳町）

中国拠点

● 香港大和工貿有限公司

● 大和高精密工業(深圳)有限公司

● 亞禡特貿易(上海)有限公司

フィリピン拠点

● BIG PHILIPPINES CORPORATION



決算概要

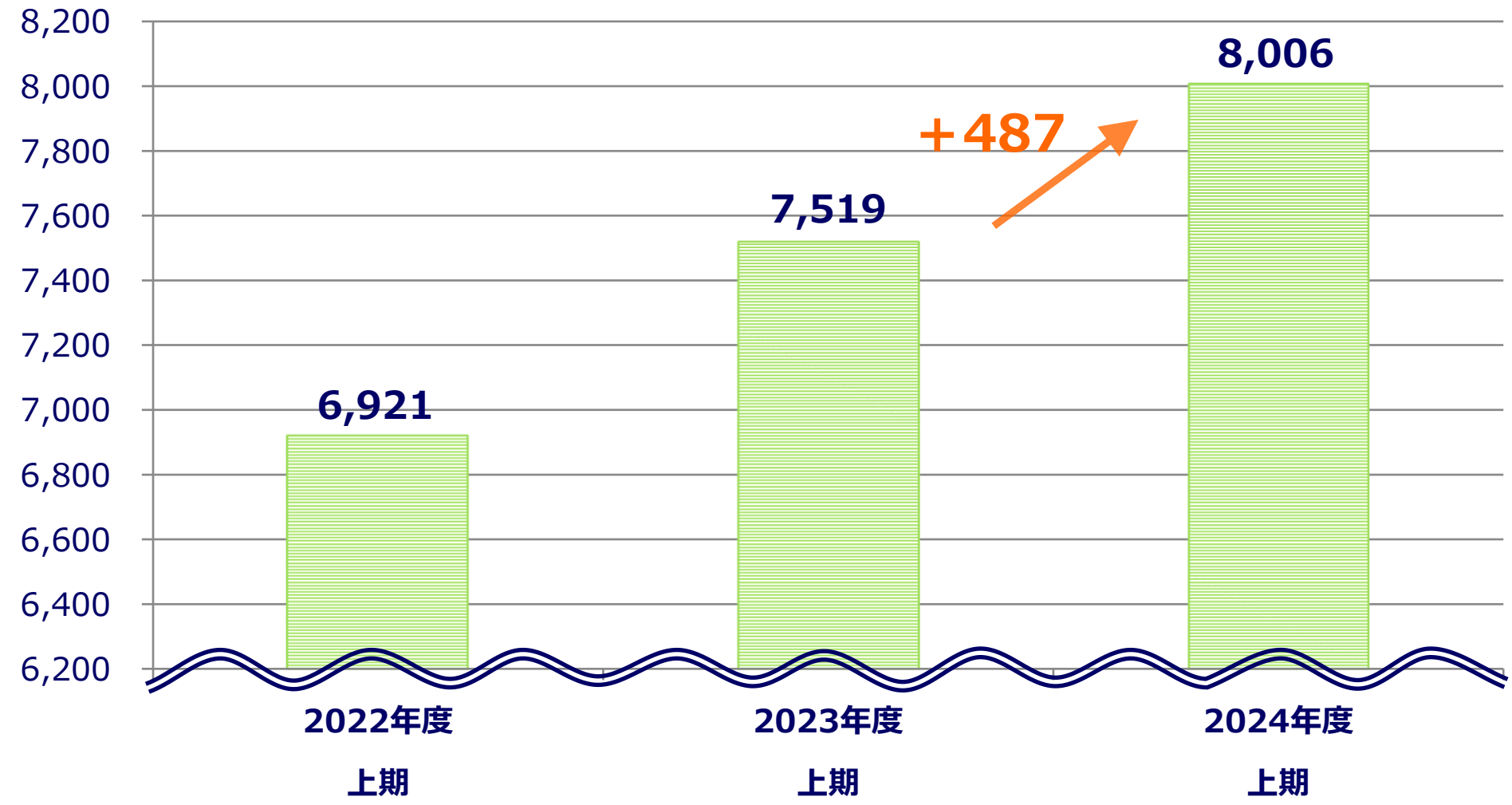
第2四半期累計期間 P L 業績

単位：百万円

| | 前期 | 当期 | 前期比 |
|----------------------|---------|---------|------|
| 売上高 | 7,519 | 8,006 | +487 |
| (合成樹脂成形関連事業) | (6,201) | (6,221) | |
| (物流機器関連事業) | (1,318) | (1,785) | |
| 売上総利益 | 671 | 873 | +202 |
| 営業損益 | △102 | 94 | +196 |
| 経常損益 | △177 | 38 | +215 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純損益 | △185 | 22 | +207 |

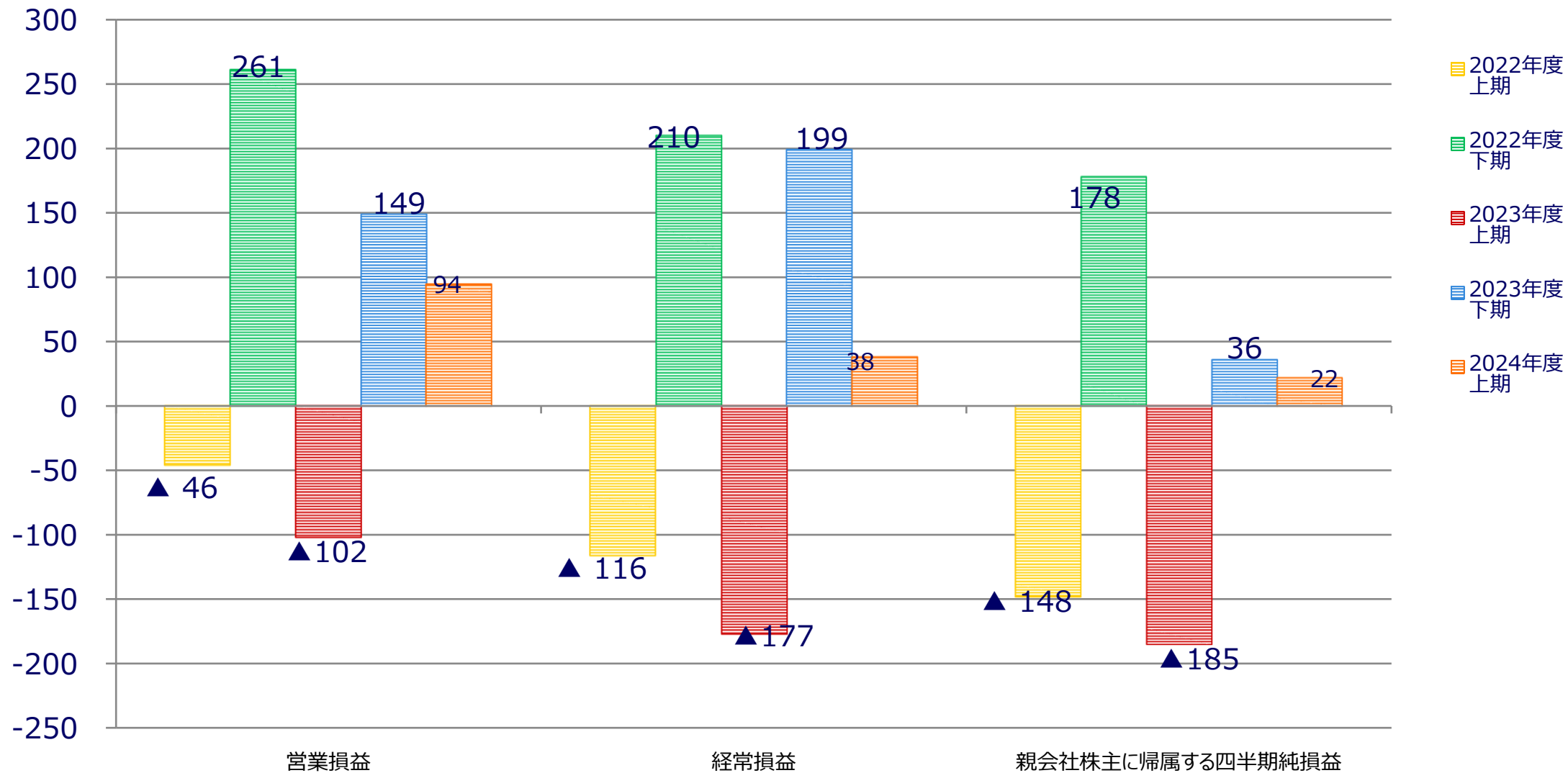
売上高推移

単位：百万円



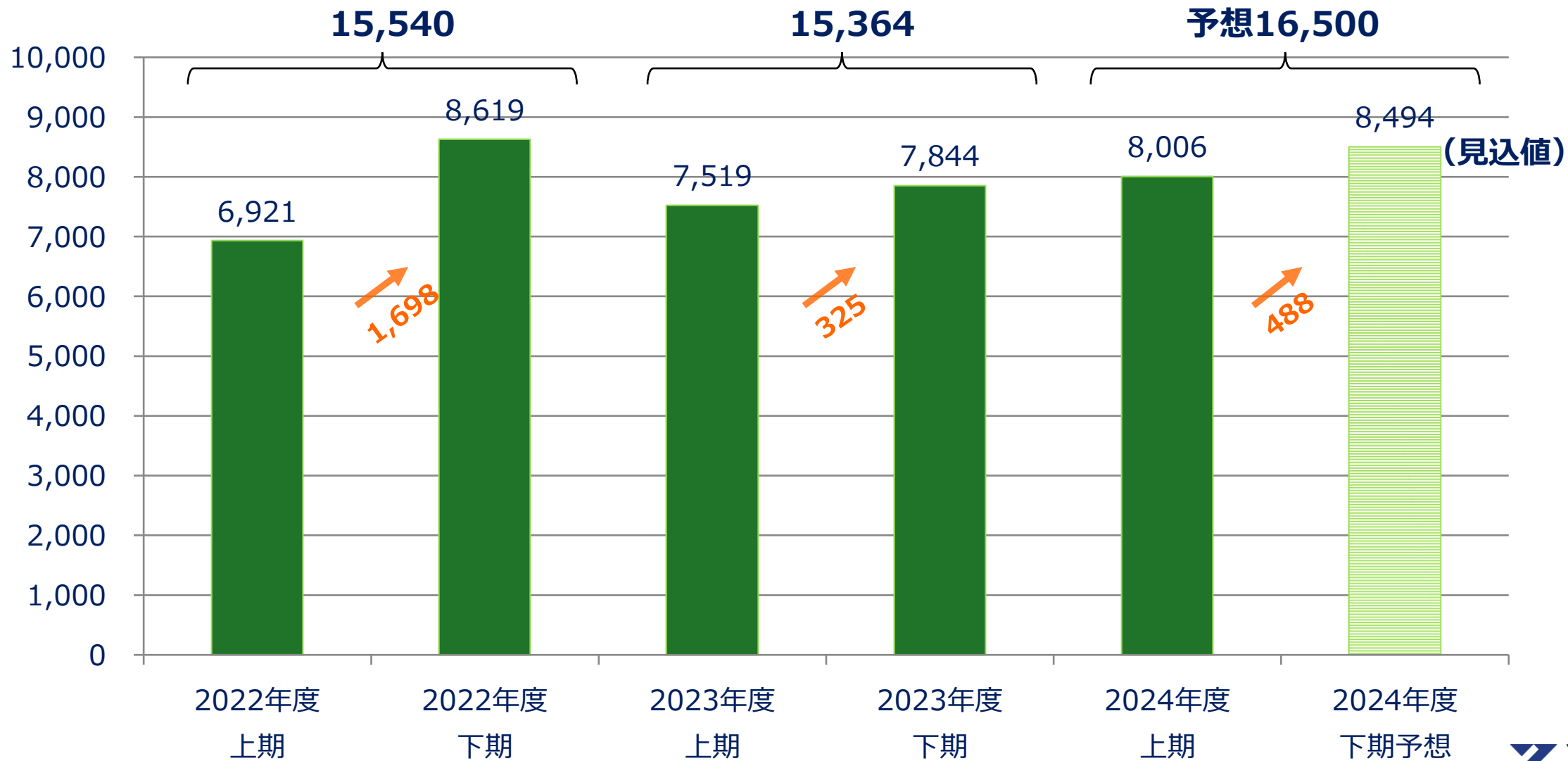
営業損益・経常損益・純損益推移

単位：百万円



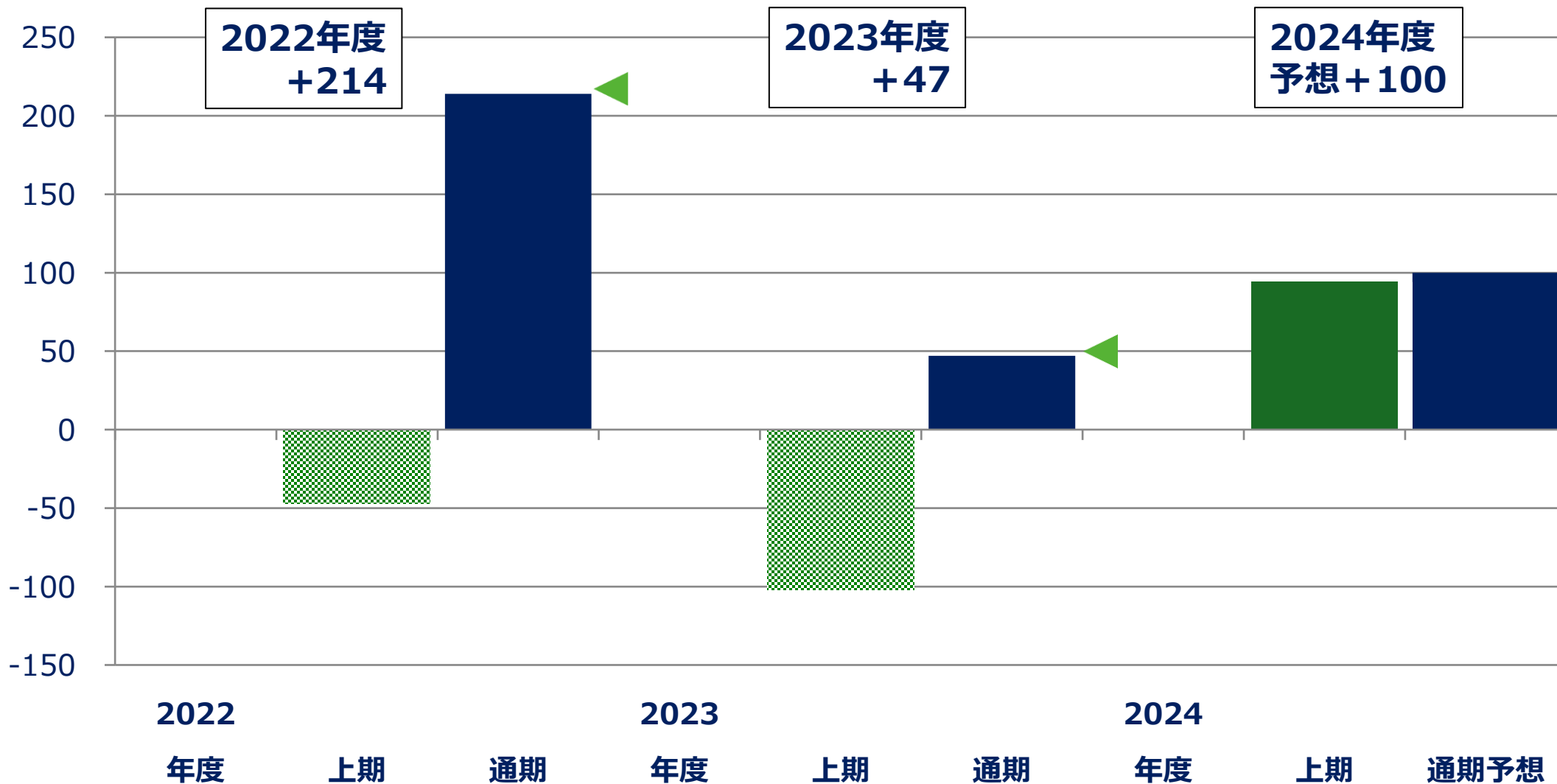
売上高推移と予想

単位：百万円



通期営業損益予想（連結）

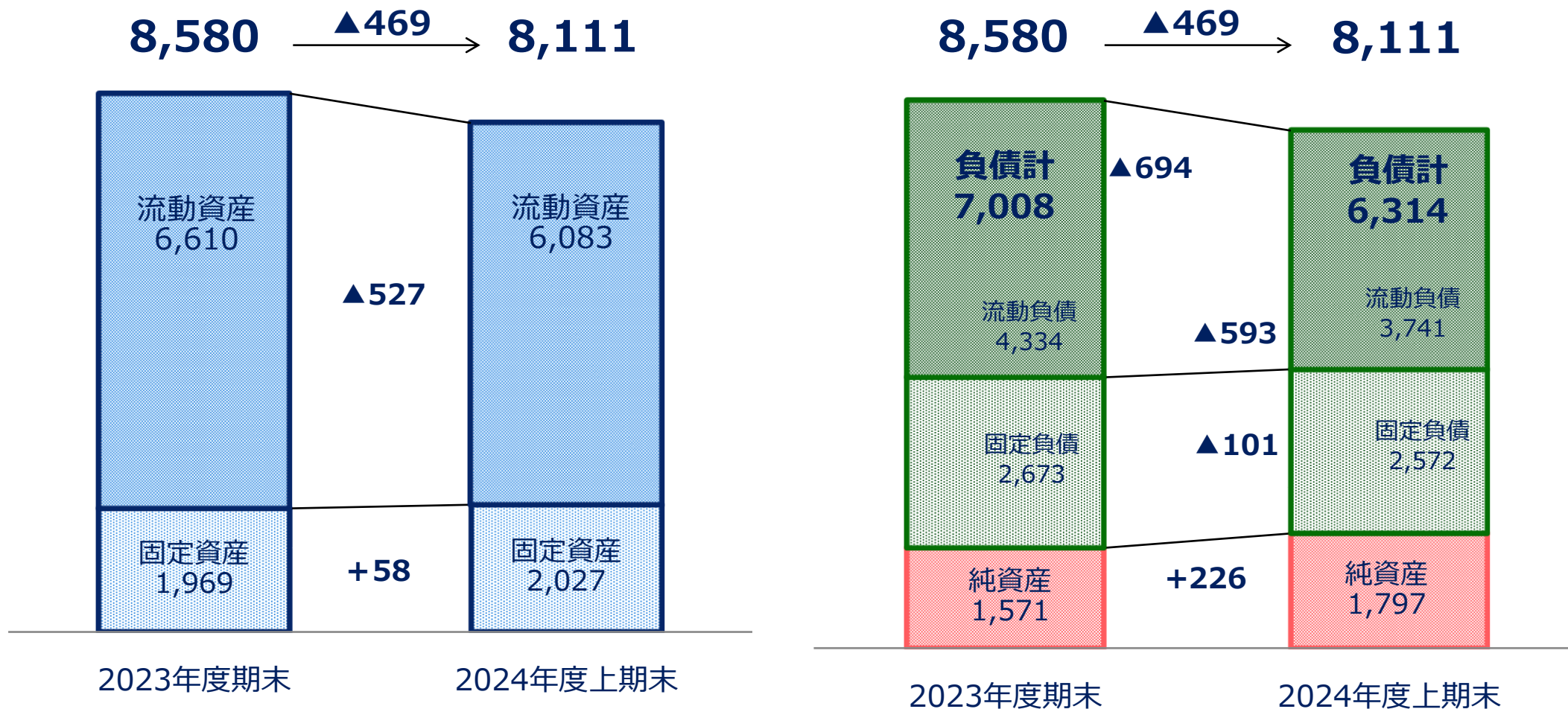
単位：百万円



第2四半期累計期間 貸借対照表

資産・負債・純資産 比較

単位：百万円



*** 2024年度上期末 自己資本比率 22% (前年度期末比 +3%)**

当社の事業内容

当社の事業内容のご紹介



樹脂成型事業

射出成型を中心とした樹脂製品
及び金型の製造・販売事業

SP・真空成型事業

真空成型を中心とした看板
及びセールスプロモーション製品等の
製造・販売事業

物流機器関連事業

カゴ台車を中心とした物流機器
の製造・販売

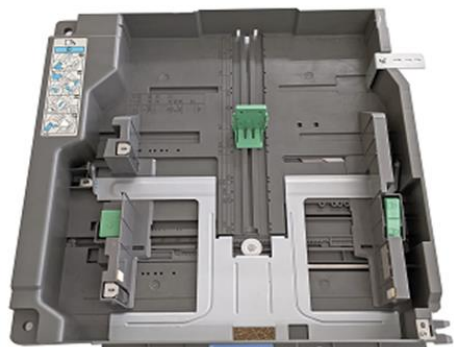
EV関連事業

EVを中心とした次世代モビリティ事業

樹脂事業ユニット

【事業内容】

射出成形によるOA機器、住宅設備、自動車関連部品などをコアとした樹脂成形製品及び金型の製造・販売



OA機器部品（成型）・組立品



OA機器部品



自動車部品



自動車部品
(MuCell成形品)

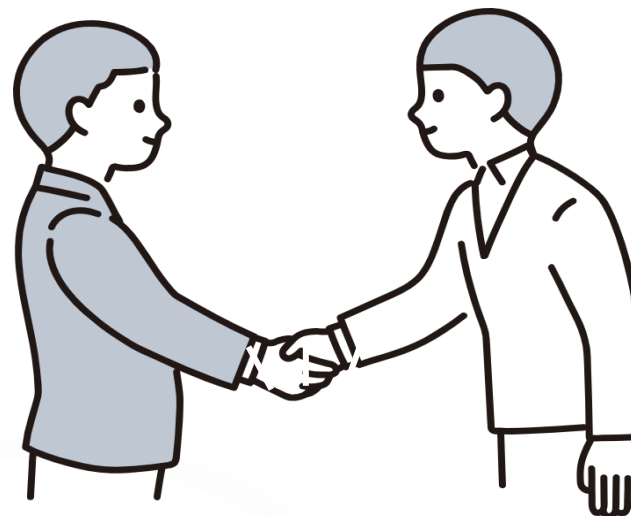


住宅設備

【セールスポイント】

コンカレントエンジニアリング

お客様の製品開発の早期段階から“共同”で設計に参加
開発期間の短縮やコストの削減を図ると共に、
安心したモノづくりをサポートいたします。



お客様

- ・新商品の企画、立案
- ・製品の全体的構想

ヤマト

- ・豊富なプラスチック成形のノウハウ

SP・真空成型事業ユニット

【事業内容】

- ◆看板を中心とした、什器・ディスプレイ等の企画・設計・製造・施工までワンストップサービスによる製品提供
- ◆真空成型を用いた産業資材関連製品の企画・設計・製造

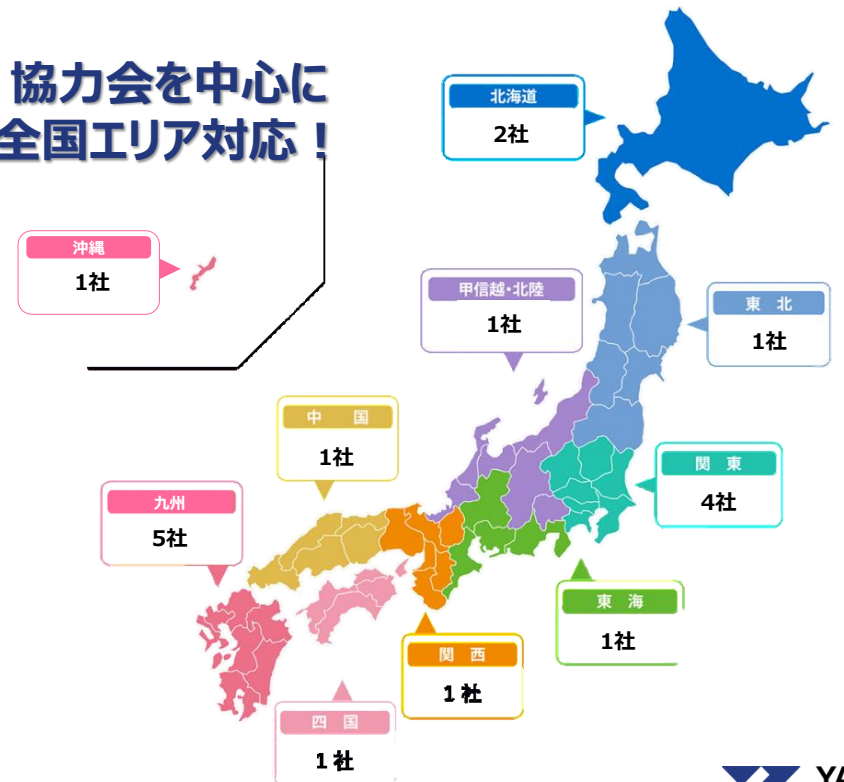


サイン看板事例

【セールスポイント】

ヤマト協力を会を中心に、全国エリアに張り巡らされたネットワークを活用した看板施工・保守等のお客様へのサポートを実現し、安定した品質のサービスをご提供します。

協会を中心に
全国エリア対応！



物流機器事業ユニット

【事業内容】

『コンビテナー』の商標にて、日本で最初にロールボックスパレット（通称カゴ台車）の製造・販売を始め、1969年の販売開始以来、当社で開発した商品群は、多くのお客様にご愛顧いただいております。



コンビテナー各種



カート各種

【セールスポイント】

◆ 豊富な製品ラインナップ

規格品以外にも、豊富な事業経験で培った設計・技術力で、お客様のニーズにあった特注製品をご提供

◆ 環境に配慮した製品、サービスをご提供

・配送時に発生する騒音を抑止したかご台車“静Kago車”の販売
・リサイクル・修理・中古品販売・レンタル事業

◆ YouTubeチャンネルによる製品紹介

自社製品の機能、操作性を動画でご紹介。
購入検討中のお客様にご好評いただいております。

新規事業開発

モールドロック®を活用したビジネス展開



- ①樹脂完全溶融の小型**卓上**成形機
- ②通常の射出成型機と比べ、**手軽**に成形



当社の提案

海洋プラゴミをはじめとした環境樹脂を活用するなど、**身近なリサイクル**活動を実現します。

【環境イベントへの出展】

環境イベントを通じ、リサイクル活動への可能性について提案



ロフトワーク主催「プラスチックナイト」出展



環境樹脂製サンプル



展示会への出展協力



当社はサステナビリティへの取り組みが、当社の中長期的な重要課題であると認識しております。

下記重要課題に取り組むことにより持続可能な社会の実現、持続的な企業価値の向上を

目指して活動してまいります

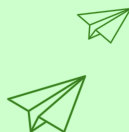
環境について (E)

重要課題 (マテリアリティ)

- ◆地球環境に与える負荷の低減と環境型社会構築に繋がる事業活動

具体的アプローチ

- ①CO2削減
- ②サステナブルな社会を実現する製品の販売



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに 11 住み続けられる
まちづくりを 12 つくる責任
つかう責任 13 気候変動に
具体的な対策を 14 海の豊かさを
守ろう



社会について (S)

重要課題 (マテリアリティ)

- ◆人権・個人の多様性を尊重
- ◆健康的・安全で働きやすい職場環境の維持
- ◆従業員に公正で質の高い教育を確保

具体的アプローチ

- ①男女、国籍、中途採用を問わない人事評価と管理職への登用
- ②健康・安全第一の職場環境の実現
- ③ハラスメントの撲滅
- ④社内教育制度の充実
- ⑤資格取得の促進
- ⑥社内規定の充実

3 すべての人に
健康と福祉を 4 質の高い教育を
みんなに 5 ジェンダー平等を
実現しよう



ガバナンスについて (G)

重要課題 (マテリアリティ)

- ◆コーポレートガバナンスの充実

具体的アプローチ

- ①法令を遵守
- ②ステークホルダーの関心にも配慮した経営



8 働きがいも
経済成長も

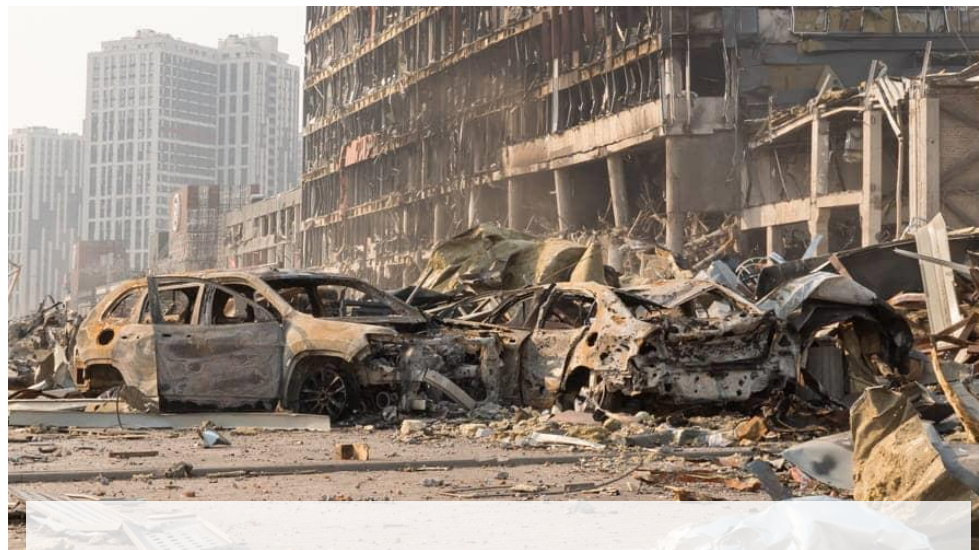


100年企業に向けて、新たな挑戦

市場を取り巻く外部環境



地球規模の異常気象




原油の価格高騰・供給リスク



環境改善の取組み



大手自動車メーカーの
EV開発加速



多くのEVスタートアップ
新興企業が市場参入

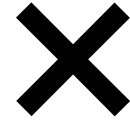
2022年10月 IATグループとの資本・業務提携



提携によるヤマトの最大の強み



YAMATO
MOBILITY & MFG.



世界最大のEV市場から、
競争力のあるEV技術や部品を導入

BUSINESS GROWTH



他社には無い、大きなアドバンテージ

新たな切り口と挑戦



新たな挑戦への決意として



YAMATO
MOBILITY & MFG.

ヤマトのモビリティ戦略 ～EV事業 3本の柱～



1 中古トラックEVコンバージョン事業



2 EV完成車輸入販売事業



3 汎用電池モジュール事業

ヤマトの新規事業を象徴するブランド

- 3事業の展開にあたって、新たに商標を設定

JEMY®

Japanese Electric Mobility by YAMATO

1. 中古トラックEVコンバージョン事業



日本のトラックEV化が進まない障壁

①

EVトラックの
価格の高さ



②

航続距離の短さ



③

バッテリー寿命の
問題



④

充電インフラの普及が
進んでいない

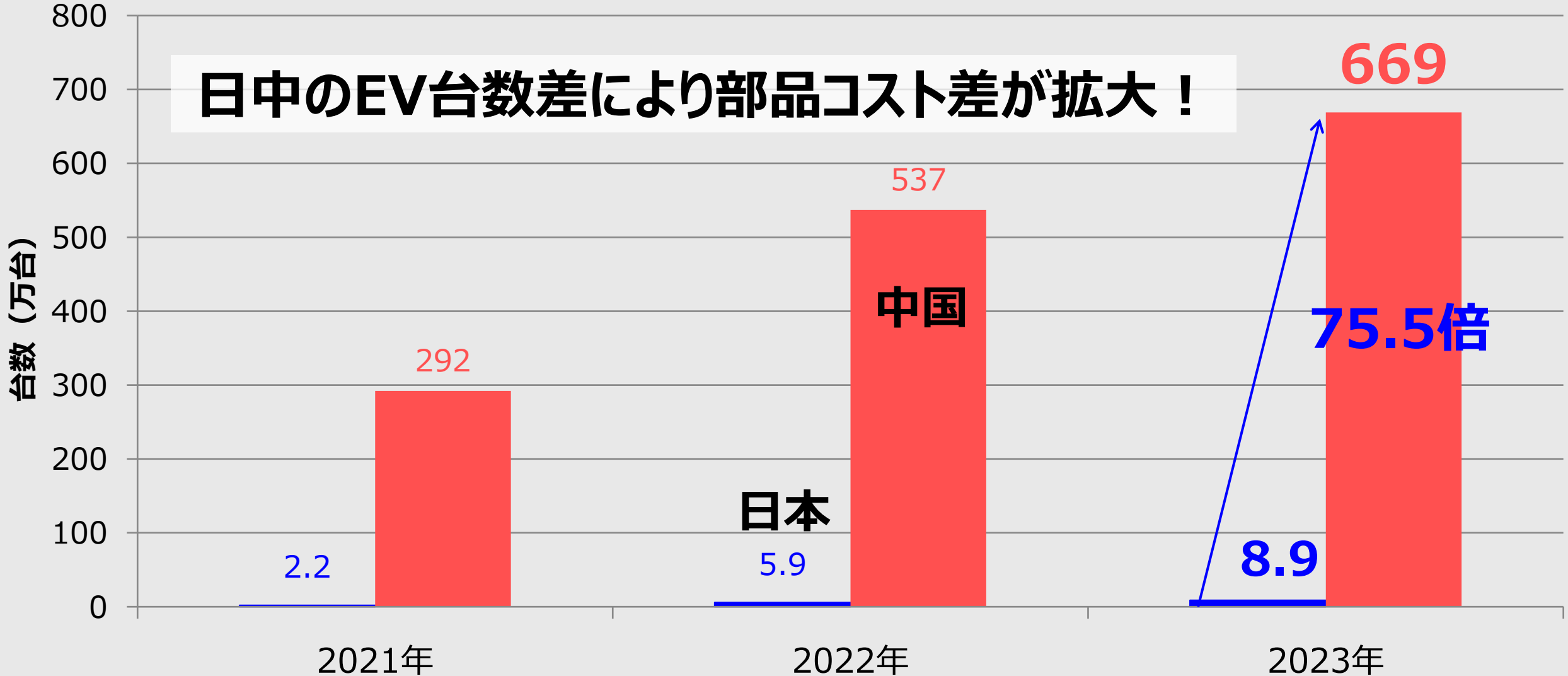


日本のEVトラックの新車価格が高い要因

<日中バッテリーEV販売台数比較>

■ 日本 ■ 中国

日中のEV台数差により部品コスト差が拡大！

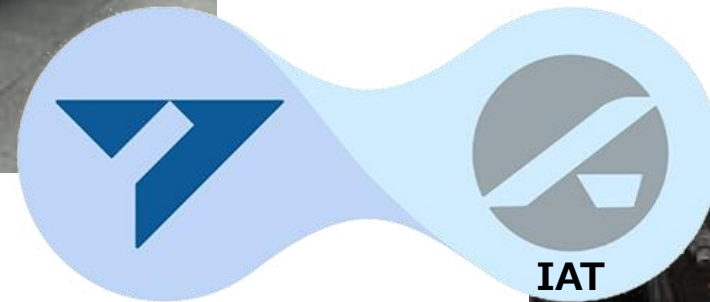


新たな付加価値の創造①：新規事業の目指す方向性

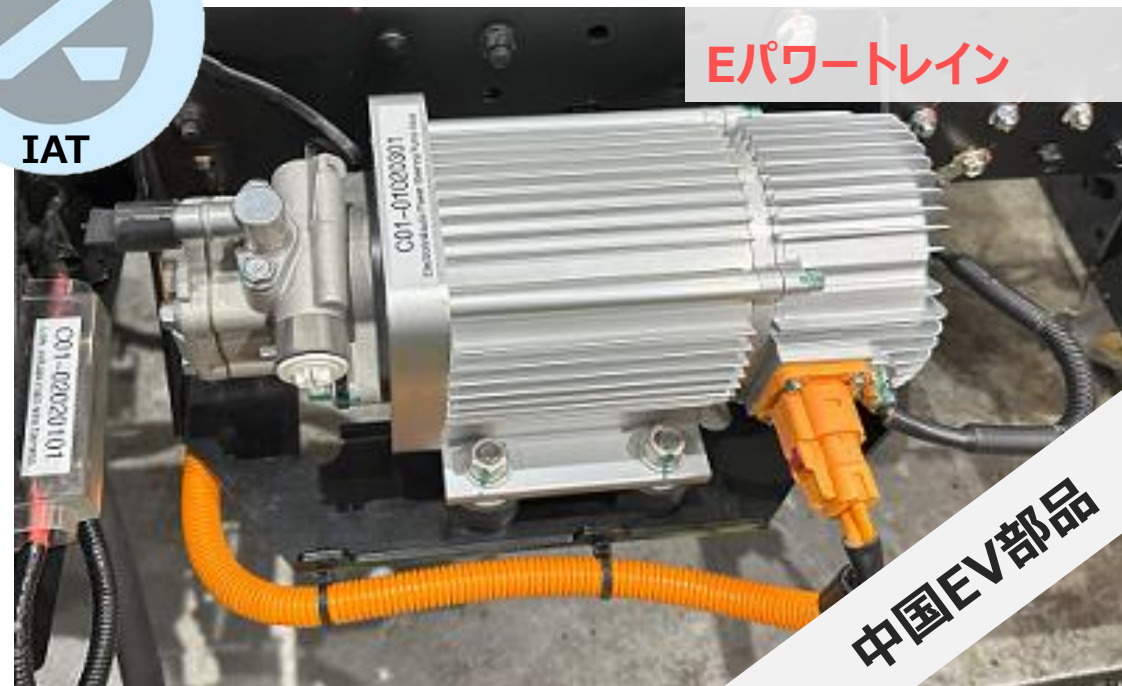
国産中古トラック



国産中古トラックの優れた耐久性



中国の優れた技術力・コスト競争力



Eパワートレイン

中国EV部品



信頼性、耐久性とコスト競争力の両立

- ◆日本製トラックの**耐久性**を保持
シャーシ、フレーム、キャビン等の構造部品の活用
- ◆中国製の競争力のある部品を採用
中国市場において実績があり、**コスト競争力**に優れた
バッテリー、モーター等の部品を厳選
- ◆これらの**融合**により新車EV価格の1/3～1/4のコスト

日中融合によるシナジーの創出

新たな付加価値の創造③：ヤマトが提供する更なる独自価値

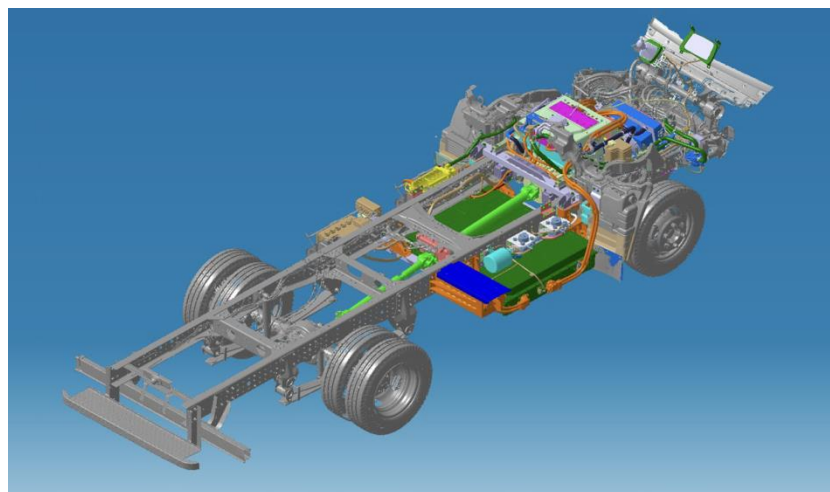


短時間によるEV化実現

- ◆ **改造キット**（必要な部品をまとめてパッケージ）で提供
- ◆ **完全ボルトオン設計**で、スキルを問わず安定した品質を実現
- ◆ わずか2日半でEV化が完了

短納期・高品質の実現

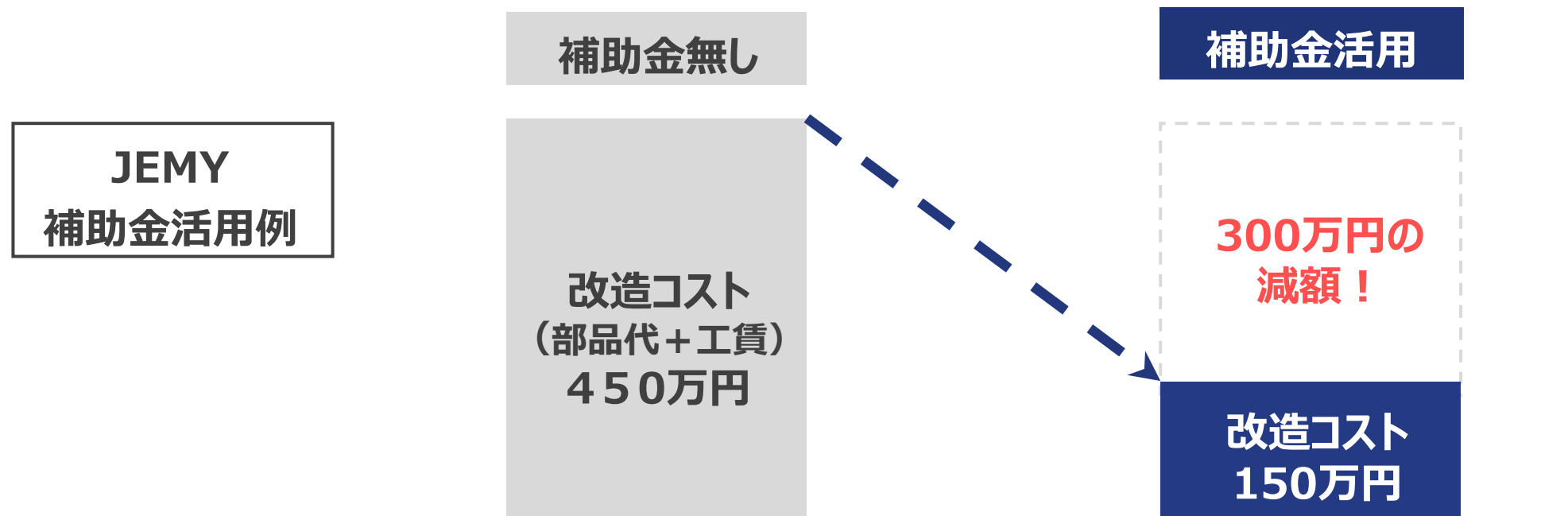
- ※ 改造キット 特別な工具を必要とせずに取り付けられるパーツのセットのこと
- ボルトオン 溶接ではなく、ボルトおよびナットにより部品を接合すること



改造トラックへの補助金について

- 2024年7月「EV改造トラック」が商用トラック電動化補助金の支給対象として追加
- 受付期間は2025年1月までだが、来年1月以降も継続予定

● 執行団体



自己負担額 わずか1/3!

顧客開拓の現状

① SBSホールディングとの取組み

2024年4月

- ・EV改造2tトラックの試験走行実施

2024年11月

- ・**国内初!** 量産前提の中古トラック改造EVの完成披露とグループ各社を対象とした試乗会の実施
- ・実用化に向けた現場環境調査開始（SBSゼンツウ）

➤ **年初から公道検証を開始、関東圏内で量産車を順次納車予定**

② 他の企業との取組み

- ・SBS以外にも多くの物流企業とEV改造トラック導入に向けた取組み
- ・商社、リース会社との新たなビジネススキームの開発



2. EV完成車輸入販売事業



- B to B、ビジネスユースを中心に各企業様の個別ニーズにお応えするユニークな製品をご提供
- 昨年のJMS2023でコンセプトモデルとして発表したEV48をベースに開発進行中



JMS2023 出展 コンセプトモデル



3. 汎用電池モジュール事業

● 2024年『国際物流総合展』にて、電池モジュール事業への参入発表

- ◆ EVに使用されるバッテリーセルを他のさまざまな用途でご提供
高性能・高品質・低コストの電池製品を提供します。
- ◆ 第一段階として、ゴルフカート用鉛電池をBSL社製リチウムイオン電池に交換
年初にトライアルを開始予定
- ◆ お客様とのモニタリングを通じて玉成を図り、物流車への適用拡大を目指す。

● JEMY電池の他社に無い特長

- ① 純日本企業による迅速細かなサービス
- ② 高性能・高品質・低コストのEV用セルを厳選
- ③ カスタマイズ対応



「国際物流総合展2024」出展

今後の重点課題・取組みについて

中古トラックEVコンバージョンの今後

①商品ラインナップの充実（年式・積載量の拡大）

- ・2012年式から2015年式へ拡大
- ・1.5トン車に加え、2～3トン車の開発推進



②地域の拡大による新規顧客の獲得

- ・首都圏から関西圏への進出

商談中

③特殊車両への展開

- ・トラック以外のコンバージョン導入提案



輸入物流車とバッテリーモジュールの展開



右ハンドル車のトライアル輸入の
早期検討と推進



ゴルフカート以外の
物流車への展開

EV事業の基盤整備と体制の強化

① 事業基盤の整備

部品倉庫、簡易整備工場、顧客向け展示場、運搬設備等を整備する固定資産投資ではなく既存設備の賃貸・リースによる整備を進めていく

② 協業パートナーの発掘と連携

③ 組織・体制強化

25年度末には15名体制とすべく新規採用を継続予定

④ EV事業の拠点設立

10月1日より横浜事業所を開設し、各種利便性を向上



横浜事業所ビル

広報活動の強化

- 当社のビジョン・戦略・商品に関する情報を積極的に発信することでより多くの認知・共感を得られるよう努めます。

1. 各種イベントの積極的な活用による製品の展示、試乗機会提供

JMS等、大規模イベントへの積極参加、及びEVトラック体験イベント等の企画実施



2. Social Media 向けの情報発信の強化

積極的なメディアリレーション、SNSを活用した情報発信を強化します。



地球に優しい輸送の未来づくり
～サステナブルな物流への貢献～



JEMY[®]

ご清聴ありがとうございました



YAMATO
MOBILITY & MFG.